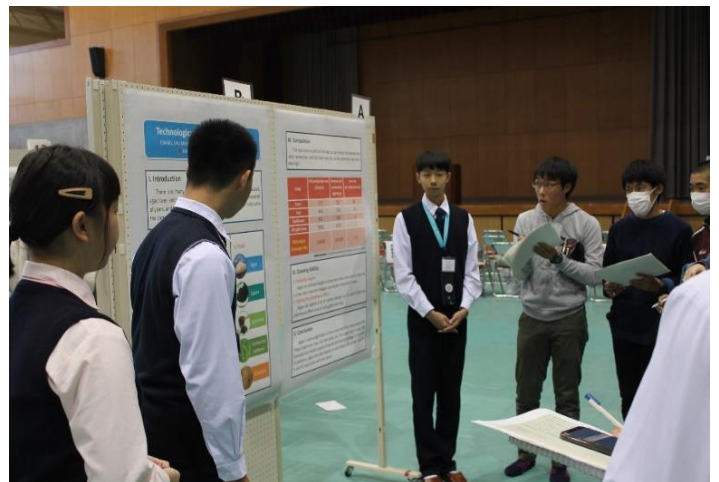


10 月 25 日に行われた「SSH第1回学校公開」の中で、2 年生の課題研究ポスター発表会が開かれました。当日は、台湾の国立南投高級中学・台北市立大同高級中学の二校の高校生が国際交流の一環で来校しており、すべてのゼミと、台湾からきた生徒が一堂に会し、体育館で発表を行いました。とても活気のある発表会となりました。今回はその様子についてお伝えします。

<発表の様子>

台湾の高校生のポスターはすべて英語で書かれており、発表も英語で行われましたが、積極的に発表を聞きに行く一高生の姿を見ることができました。また、一高生も、事前に全ての班が英語でアブストラクトを作成し、発表内容を英語で伝える準備をしました。

台湾の高校生の発表は堂々としていて、研究内容も英語もレベルの高さを感じるものでした。



普段は聞くことができない他のゼミの発表を聞けるということで、思い思いに興味を持った発表を聞きに行く様子が見られました。

1 年生はゼミ選択を控えた時期にあり、真剣に発表に聞き入っていました。

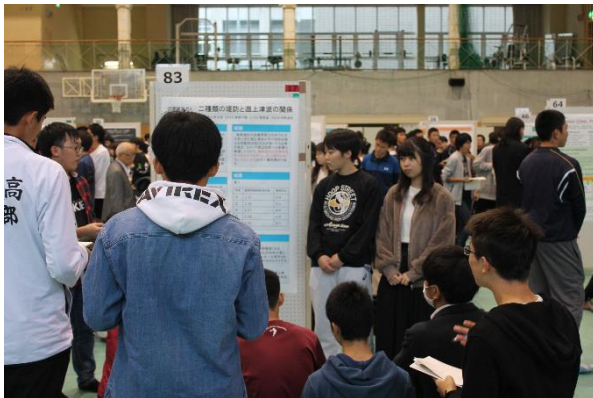
これまで経験してきた発表会は、ゼミ内での意見交換が中心でした。そのため今回は、来校者の方々や、別のゼミの人から、普段とは違う視点からの意見や客観的な意見をもらうことができ、刺激になる発表の機会となりました。



以下、生徒の感想を抜粋して掲載します。

<1年生の感想>

- 自分の第一志望のゼミだけでなく、他のゼミも見学し、視野を広げることができ、所属したいゼミについてよく考えることができた。
- どのゼミの発表も大変興味深く、一つのゼミにしかなれないことを残念に感じた。



- 台湾の学生の発表も見学し、理解するのは少し大変だったけれど、よく聞いて内容を理解し、質問や終わったあとの会話でコミュニケーションをとることもできたのでよかった。
- 英語ゼミは英語教育や海外と日本の文化の違いや考え方の違いなどを研究しており、興味を持った。

<2年生の感想>

- 様々なゼミの発表を聞き、新しい知識をたくさん得ることができた。
- 様々な問題への切り口が見られ、とても興味深い研究が多かった。
- 以前の発表の反省を生かすことができたが、数学的根拠が足りないことを知った。限られた時間の中で修正していきたい。
- 今回の発表会では、前回までの発表よりも準備をして臨んだため十分な説明ができ、質問対応も適切にできたと思う。
- 発表や質問を通して、自分たちの研究に何が足りないのかを改めて把握することができた。



編集後記

班の外やゼミの外からの意見を直に受けることのできた今回の発表は、発表者としても、また聴衆側としても学びの多いものであったと思います。いよいよ2年生にとっては、1年にわたって続けてきた研究の最終段階になります。ここで得た経験を、個人論文や、その他外部で研究を発表する機会へ、そしてゼミ代表の人たちは若林区文化センターでの発表へ、それぞれ活かしていきましょう。